令和７年度　学校だより
城南っ子
〔学校教育目標〕
自律的に学び、認め合い、
ともに成長しようとする児童の育成
那覇市立城南小学校
令和７年４月10日
第　２号
文責　：　校長　田島正敏

委員会活動「発足式」

委員会活動は、最上級生としての自覚を持ち、各種委員会の一員として創意工夫をこらし活動ができるようにすることをめあてに９日(水)の５校時に委員会活動「発足式」を行いました。本校では普段は６年生のみの活動ですが、５・６年生で委員会活動を行っている学校も多くなっています。本校には放送、図書、保健、体育、運営、美活、給食、栽培、掲示の９の委員会があります。すべての児童が安全・安心な環境で学校生活を快適かつ楽しく過ごすことができるように、活動の振り返りを大切にしながら活動を楽しんで欲しいです。そのために城南っ子にとって城南小学校はどのような学校か。どうすればもっと楽しくなるのか。学校の環境をもっとよりよくする方法はないのか。などをはじめ・元気よくあいさつをする。・廊下や階段は右側を静かに歩く。・友達を「さん」づけで呼ぶ。など多くの「生活の決まり」についてもなぜ必要なのか。どうすればもっと主体的に守れるのかなどについて児童自らが議論し、確認し合い、実践することで「守らされている」の感覚から「守りたい」という主体的・能動的な「きまり」になる取り組みを充実させたり、SDGs に関しても主体的に考え実践したりして欲しいと考えています。

教頭先生のから「委員会活動は学級の係り活動のように誰かがどうしてもやらなければならない部分と、自分たちで考えて活動する部分があり、何が必要か、どうしたらよりよくできるかを気づける人になって欲しい。そして活動を楽しんで欲しい」と激励の言葉がありました。それぞれの委員会担当職員の紹介後、各委員会に分かれて年間活動計画を立てるなど、これからの活動の準備をしました。よりよい学校生活にするために活躍を期待しています。

給食開始について

昨日から２年生以上は給食が始まっています。１年生は来週の 15 日(火)からスタートします。

４校時が終わるとマイエプロンをきちんと着て配膳室に向かう給食当番がいます。しかし、一方ではエプロンの着用が極端に少ない学級もありました。給食当番の時はエプロンを着用できるようご家庭で準備をお願いします。

昨日の給食のメニューはコッペパンとチリコンカン、ウインナーとスープ、牛乳でした給食開始１日目のメニューにしては軽めでした。今日は、クファージューシーとパパイヤの和え物、カボチャの天ぷらと牛乳、そして子どもたちの大好きなお祝いイチゴゼリーがついていました。

15 日には１年生にお祝いイチゴゼリーがつくようです。給食が始まるのが楽しみですね。

発育測定について

今日から学年ごとに発育測定が行われています。スタートは６年生からです。養護教諭の金城輝美先生によると、１年間で 10cm 以上伸びた児童も数名いたそうです。前任校の「卒業を祝う会」では、卒業生に１年生から６年生までの間で伸びた身長分の長さのリボンをそれぞれ貰っていました。最も伸びたのは男子で 40cm 近く大きくなった児童がいました。

身長の高低には、遺伝が大きく関わっていると言われていますが、日常の食事睡眠、運動も大きく関わっています。発達段階に応じた食事、睡眠、運動を心がけさせ、健やかな成長につなげるようにしてください。

架け橋期のスタートカリキュラムについて

幼稚園や保育園から小学校にあがった際、幼稚園やこども園でできていたことを、小学校でゼロから始めたり、小１プログレムとよばれる不適応を起こしたりするなど、学びや生活の連続性が弱かったことが指摘され、文部科学省は、2022 年に「幼保小の架け橋プログラム」を推進していくことを決定しました。義務教育開始前後の５歳児から小学校１年生の２年間のことを「架け橋期」といいます。幼保小連携では、幼稚園・保育園から小学校へこどもが円滑に移行できるように、相互に連携し協働し、カリキュラムを工夫しています。小学校に入学した子どもが、小学校の授業や生活などに慣れることができるようにするための、カリキュラムを「スタートカリキュラム」といいます。子どもの発達を踏まえたうえで、時間割や学習活動を工夫しています。